



### 春の訪れ竹雛まつり

(久美浜雛まつり稲葉本家会場)

表紙写真は、峰山町の荻野博さんにご提供いただきました。

#### 12月議会

- ◆年頭のご挨拶、補正予算、賛否一覧……………2~3
- ◆条例……………4~6
- ◆一般質問……………7~15
- ◆委員会視察報告……………16~17
- ◆次回の市民と議会の懇談会……………18
- ◆市民と議会の懇談会……………19
- ◆市民の声、あとがき……………20

#### 3月議会予定

- 2月26日 本会議(招集日)
- 2月27日 本会議
- 3月10日 本会議(代表質問・一般質問)
- 3月11日 本会議(一般質問)
- 3月12日 本会議(一般質問)
- 3月28日 本会議(最終日)



京丹後市議会議長  
岡田 修

市民の皆さまにおかれましては、お健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は、市議会に温かいご理解とご支援を賜り御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、京丹後市の経済・財政はアベノミクス効果が十分浸透しているとは言えず、依然として厳しい経済・雇用状況です。市の財政も将来的には普通交付税の合併特例措置の削減、及び合併特例債の廃止などが見込まれ、厳しい状況が予想されます。昨年制定した京丹後市商工業総合振興条例を受け、京丹後市新経済戦略・プロジェクト100で具体的な施策の展開が待ったなしです。

「し尿・下水道の料金改定」は、昨年の12月議会で真剣な議論を行い、市長の提案を可決しました。今回は市民の負担を求めましたが、今後、すべての事業運営で、一層の事務事業の整理、合理化を進めて、財政の健全化に努めていかなければならないと考えています。

さて議会においては、市民と議会の懇談会を、議会基本条例に基づき、平成20年8月より、年4回の定例会後、2日間、6町で開催してきました。懇談会は日頃の議会活動の報告や、市政に関する情報提供と共に、参加者の皆さまからご意見やご提言などを聞く貴重な機会として実施してまいりました。今年も各地域に出向き、多くの市民の皆さまからご意見やご提言をいただきましたと思いますので懇談会への参加をお願いします。

本年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

# 12月定例会

## ● し尿手数料・下水道使用料に関する条例の一部改正 料金値上げに対して減免等を求める附帯決議!

(総務常任委員会・産業建設常任委員会で審査)

## ● 峰山保育所・網野保育所 完全民営化により国・府補助増加 保育料軽減等を求める附帯決議!

(文教厚生常任委員会で審査)

## ● 一般会計の補正予算17億4020万円の 一部修正案を全員賛成で可決

平成25年12月定例会は、12月2日から24日までの23日間の会期で開催された。一般会計補正予算第5号、特別会計補正予算、企業会計補正予算、市有財産の無償譲渡、市立保育所条例の一部改正、公民館再編計画、し尿処理手数料・下水道使用料に関する条例の一部改正など、40議案(内、附帯決議3件)を審査した。

### 一般会計補正予算の主な質疑

松本重太郎100年  
記念総合調査プロジ  
ェクト

**問** 京丹後市政にどれだけの効果があるのか。

**答** 松本重太郎翁の理念を持つて経営された企業が多くが、大企業として今も残っているが本市の知名度は低い。シンポジウムを開催することで、翁の経営哲学と業績の発信を通じて、本市も商工業総合振興条例や新経済戦略と共に打ち出していきたい。

峰山統合保育所

**問** 子どもの安全確保はどうか。

**答** 保育園の周りにフェンスを設置し、職員室は玄関や園庭が見える位置に計画している。

大宮第一小にエレベーター新設

**問** エレベーターではなく、特別教室を1階にもっていくことはできないのか。

**答** 3年生以上は2階、3階の特別教室でも授業を行う。特別教室を1階にもっていくには、教室の数が少なく入れ替えは難しい。  
今後、他校にも必要が生じれば、可能な限りエレベーターの設置を検討していく。



間人小学校の松本重太郎像

## 木質バイオマス推進事業(増額)に待った

6月定例会(補正予算)において、可決承認された木質バイオマス推進事業が、詳細設計の結果、当初設計額より木材使用による建築資材費等が増加する見込みとなった事を理由に、補正予算が提出された。

**問** 当初に比べ材料の高騰を理由としているが、4割増には問題がある。今回の見積りは、単なる材料の高騰なのか。見積り業者は同じか。仕様の変更は無いのか。

**答** 当初設計と実施設計は違う見積り業者で、積算は事業者が、4社より選定した。主な理由は当初より強固な基礎工事が必要になったためである。

**問** 基礎や木材チップパイルの変更を予測できなかったのか。なぜ、見積り業者を変えたのか。

**答** 予算承認を受け、事業者と市・府で協議する中で見直しを行った。事前の設計は別の業者で



建設予定地の大宮第三小学校跡地

とっていたが、実施設計については、事業者において選定し、見積りした。

### 修正案の提言

本会議での質疑を終え、十分な説明がなされていない事などの理由で、本事業に関わる一般財源充当分を減額して、予備費とする修正案を全会派代表の連名により提出した。

### 修正案に対する討論

・峰山統合保育所事業は、子育て支援の大切な施設であり、しっかりと応えるよう進めてもらいたい。  
・省エネグリーン化推進事業は、LEDによる維持管理削減とCO2の削減につながる。  
・雇用環境整備対策事業には、一時的な雇用ではあるが、意義のある仕事を期待する。  
・学校設備の改築等、課題に対応する重要な予算だと理解している。

・木質バイオマス利用促進事業については、質疑を重ねたものの、なぜ補正に至ったのか理解できない。6月補正の質疑の中で、「今後、市の負担、補助等はあるのか」との問いに対して、「以後の市の補助は、予定していない」との答弁であり、整合性を正す必要がある。  
・木質バイオマス事業を否定するものではないが、今後、十分な質疑を重ね審議していく必要がある。

【全員賛成で可決】

## 議案に対する議員の賛否の一覧

賛否の分かれた案件を記載しています。その他については全員賛成で可決されました。

会派名	議員名	清風クラブ								丹政会			日本共産党			雄飛会		無会派			
		金田	谷口	中村	芳賀	藤田	堀	松本	由利	吉岡	池田	谷津	三崎	和田	田中	橋本	平林	森	川村	吉岡	足達
市立保育所条例の一部改正	案件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
財産の無償譲渡(市立峰山保育所)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
財産の無償譲渡(市立網野保育所)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
国民健康保険直営診療所条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
病院事業に係る使用料、手数料等条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
水道事業給水条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
簡易水道設置条例等の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
簡易給水施設設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
飲料水供給施設設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正(し尿収集処理手数料)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
公共下水道条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
集落排水処理施設条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
市設置型浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○
議案第150号、公共下水道条例の一部改正、議案第151号、集落排水処理施設条例の一部改正、議案第152号、市設置型浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部改正についての附帯決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×

※○:賛成 ×:反対 欠:欠席 岡田修議員は議長職のため表決権はありません。

# し尿処理手数料を平均36%の値上げ

激変緩和措置として、3段階で実施

## 提案理由

- 消費税の改正に伴い、公共下水道との公平性を考える必要がある。
- し尿処理事業の円滑な運営を図る。
- 12年間値上げがされておらず料金が据え置きとなっている。



竹野川衛生センター

**問** 4月からの消費税が8%に改定される同時期に、し尿処理の値上げということはどうか。

**答** 高齢者世帯や低所得者世帯への負担増加に十分配慮する。激変緩和措置として、3段階に分けて、なるべく影響が出ないように考えている。

**問** 平成24年度の財政健全化比率の4指標は、きわめて健全である状況を踏まえて、もう少し一般財源を入れてはどうか。

**答** 一般会計からの繰入もできる限りしていく一方、し尿処理と公共下水道とのバランスも考えてやっていく。

## 委員会審査での主な質疑

## 反対討論

し尿収集の手数料と下水道使用料の不公平感の解消を理由としているが、最大の問題は財政問題である。市民の理解が得られる説明ではない。財政状況を踏まえて市民の理解を求めるべきである。

## 賛成討論

市の限られた財源の中で、バランスが大切である。衛生的な生活環境があるといえながら、全体の70%が生活雑排水という現状であり、下水道利用者のみがその負担をしていることは問題である。また、高齢者世帯、低所得者世帯への減免が盛り込まれていないのは問題であると指摘する。

**【賛成17・反対4で可決】**

議案が可決されたことにより、料金に対する減免等の精査・検討を速やかに求める附帯決議を全員賛成で可決した。

## 本会議で可決された附帯決議

し尿処理手数料の改定に際し、3段階の激変緩和措置が経過措置として規定されているが、京丹後市廃棄物減量等推進審議会の答申にもあるように、高齢者世帯・低所得者世帯への配慮として、し尿処理手数料については減免等の導入を検討すべきであるとされており、今後速やかに精査・検討を行い、必要に応じて適切な措置を講ずること。

## ○ 3段階の激変緩和措置

現 行	8 円/リットル	
	200 リットルまで	1,600 円
200 リットル超過分	200 円	
25 リットルごとに		
平成 26 年 4 月 1 日から	9 円/リットル	
	200 リットルまで	1,800 円
	200 リットル超過分	225 円
25 リットルごとに		
平成 28 年 4 月 1 日から	10 円/リットル	
	200 リットルまで	2,000 円
	200 リットル超過分	250 円
25 リットルごとに		
平成 30 年 4 月 1 日から	10.9 円/リットル	
	200 リットルまで	2,180 円
	200 リットル超過分	272.5 円
25 リットルごとに		

# 公共下水道 集落排水 市設置型浄化槽使用料 **12.84%の値上げ**

市設置型浄化槽のブロワ電気代相当分は、浄化槽使用料から減額

## 提案理由

- 消費税の改定に伴い、料金転嫁を行う必要がある。
- 水洗化率50%の目標達成の目途がつき、下水道事業の将来にわたる安定的かつ持続可能な運営のため。



大宮・峰山浄化センター

### 今回の提案に至る経過

料金の見直しは審議会へ2度の諮問をし、その答申の中で「段階的に使用料金の見直しが必要」との答申を受け議案に提案した。しかしながら、平成23年9月議会において「接続率50%以下では接続者のみに負担をかけるのはいかなるものか」等の理由で否決された経緯がある。

今回、接続率が50%超の見込みと更なる経営改善、接続率向上への取り組みを踏まえ、公共下水道使用料の値上げ案を可決した。

### 委員会審査での主な質疑

- 問** 公債費の30%と答申に出ているが、市として資本費30%の利用者負担が妥当だ、と理解をしているのか。
- 答** 国の方が地方交付税の措置として、元利償還金の約30%相当を手当しているとの考えがある。よって、残りの70%ほどを市と利用者で負担をすべきと考えている。
- 問** 水洗化率が50%達成したということ、いろいろな形の施策をされているが、どれが一番効果的であったのか。また、どのような施策を今後するののか。
- 答** この2年間、前回の提案をしてから今日までの間で、非常にいい評価をいただいているのは、下水への接続のアドバイスを無料で行う排水設備アドバイザーである。
- 昨年実績で119件の派遣をし、そのうち接続につながったのが、29件という実績である。

### 反対討論

公営企業としての独立採算は理解できるが、消費税の増税が予定されている中、ますます市民の暮らしは厳しさが増してくる。一般会計からの繰り入れを増やして、市民の負担増を回避するべきである。

最優先で水洗化率向上に取り組みすべきであると考え

## 討 vs 論

### 賛成討論

消費税の増税や景気の動向は気になるが、答申で受けた接続率50%超の見込みや、前回の15%の値上げに對して、消費税8%時では12.84%、消費税10%時では14.97%に抑えられている。

今回値上げを見送った場合、将来大幅な値上げが予想される。

議案が可決されたことにより、次の附帯決議が提出され、賛成多数で可決した。

公共下水道、集落排水の採決

【賛成13・反対8で可決】

市設置型浄化槽の採決

【賛成14・反対7で可決】

### 附帯決議の内容

- 上下水道事業審議会の答申に沿って今後も見直しを進め、新規水洗化目標数を必ず達成するよう、全庁的な取り組みを強化すること。
- 公共水域の水質保全について、市民に対し更なる周知徹底を図ること。

# 効率的かつ効果的な保育の実施を目指して、 2つの保育所を民間へ譲渡

市立峰山保育所は、社会福祉法人みねやま福祉会へ  
市立網野保育所は、社会福祉法人不動園へ

社会環境の変化・就労形態の多様化に  
対応するため民間のノウハウを活用!!

## 委員長報告に対する質疑

**問** 保育料の引き下げについての考えは。

**答** 子ども・子育て支援法の関係で、平成27年4月からの改正を検討することになる。それと同時に保育料の検討も考えている。

**問** 民営化によって公的な責任はどうなるのか。

**答** 市が委託金を支払って保育を運営していただくことから、京都府と一緒に指導に入ったり、状況の確認、相談をしており公的な責任を放棄することはない。

**問** 民設民営は改めて公募するというのが本来の姿ではないのか。

**答** スムーズな運営を考えた場合に、現在の法人が高い評価を受けていることから、そのまま譲渡することが最も適切であると考えた。



市立峰山保育所

**問** 民間になって、所長以下、職員の対応が良くなったと聞いているがどうか。

**答** 民営になった中で、やはり笑顔がとてもよくなったりとか、職員の対応がいいというようなことがかなり上がってきている。市もしっかり受け止めて、所長・園長会で話をし、職員会議などですっかり指導して今後に生かすように努めていく。

## 本会議での討論

### 反対討論

保護者からのアンケート等を含め、特に大きな問題は顕在化していない。しかし、未来ある子どもたちの発達や、働きながらも安心して子育てができる支援策、子どもへの発達を支援するといった部分を、財政優遇というところで民営化路線に導いていくことが、保育行政の後退につながるのではないか懸念する。

### 賛成討論

完全民営化により、試算上、財政効果もあることから、その利益については、子育てしやすいまちづくりを目指す市の方向性からして、市民に還元していくべきである。今回の完全民営化は、市立保育所のあるべき姿の先駆けになる。今後も両保育所の運営をしっかりと検証し、着実に進めるべきである。

### 採決の結果

- ・ 保育所条例の一部改正【賛成17・反対4で可決】
- ・ 峰山保育所の無償譲渡【賛成17・反対4で可決】
- ・ 網野保育所の無償譲渡【賛成17・反対4で可決】

### 保育所条例の一部改正、施設の無償譲渡に対する附帯決議を提出し、全員賛成で可決しました!!

少子化対策、子育て支援の充実が京丹後市の最重要課題の一つである。

しかし、市の保育料は府内自治体に比べて高額であり、さらに一部所得階層によっては国の基準を超えている。

よって平成26年度も含め、可能な限り早期に保育料引き下げ等、子育て世代の負担軽減を図るよう求める。

また、市立峰山・網野保育所を民間事業者（社会福祉法人）に移管することで、市には5千万円を超える財政削減効果があることが明らかになった。これを子育て支援の原資として活用すべきである。

### 公民館条例の一部改正 公民館再編計画の策定

公民館再編計画に基づいて公民館条例の改正をするもの。

### 3つの主な改正点

- ① 社会教育を進めていく上で、基盤となる公民館体制を整備するための中央公民館の設置。

- ② 小学校区単位の地域公民館の設置から、中学校区単位の地域公民館とする。旧町を基盤とした公民館連絡協議会を強化し、旧町単位、中学校区単位の公民館を中心とした地域づくりを進める。
- ③ 地区公民館は自治組織として、地域活性化のための独自の活動ができるように自治公民館とする。

### 採決の結果

公民館条例の一部改正

【全員賛成で可決】

公民館再編計画の策定

【全員賛成で可決】

# 12月定例会一般質問

# 市政を問う

～議会を傍聴しましょう!～

京丹後市議会

検索

<http://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai>



一般質問を平成25年12月12日、13日、16日の日程で行い、17人の議員が質問し、市長や教育委員長に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市ホームページの「京丹後市議会コーナー」で配信していますのでご覧ください。

## 市民に財政の厳しさが伝わる 職員給与額を

市長 職員は福祉向上に一生懸命頑張っている



雄 飛 会  
吉岡豊和

**問** 市へ何かを要望すればまず「金がない」と言われるが、財政は本当に厳しいのか。

**市長** 税収が減収している中で、自主財源が4分の1と極めて少ない状況である。さらに平成27年度から交付税が削減する。その額は平成25年度予算ベースで、6年後には34億円減少する厳しい状況である。

**問** ラスパイレス指数の基準となる人事院の給与調査は、公務員にとって都合のいいものになっている。人事院の調査は50人以上の企業を対象としているというが、大企業に偏っている。年収換算すると486万6千円（ポナス除く）で、国税庁の民間給与実態調査で

は、従業員1人以上の事業所から調査した結果は、年収349万円（同じ）で、138万円もの大きな格差となっている。

**市長** 本市においても、200人以上の最大規模の企業の社員年収は471万円で、市職員は567万円。この官民格差をどう考えるのか。

**市長** 国家公務員の給与が元に戻れば、ラスパイレス指数は93ぐらいなので、人事院勧告に準じて対応していく。

**問** 産建委員会で視察に行った隠岐の海士町では、町長が「自ら身を削らない改革は支持されない」先憂後楽の信念で自らの給与カットを宣言すると、職員等も給与カットに応じ、その財源を子育て

で支援に充て、見える施策を実施している。その状況から町民からは補助金返上の声が出た。本市職員も身を削り住民と財政の危機感の共有が必要なのは。

**市長** 本市の住民福祉特に経済水準を上げていくことが重要だ。また、職員の意識を高めることも重要で、職員も一生懸命頑張っている。



市民と職員と共に財政の厳しさの共有を

## 民営化による財源捻出で保育料の引き下げを

**市長** 高額と思うが交付税削減の問題で考慮も必要



雄 飛 会  
川村 博 茂

**問** 保育所の民営化は、市の責任放棄につながるという理由で反対した議員も何人かいたが、保護者や市民から批判の声は聞いているか。

**市長** アンケート結果も含めて、批判的な意見は全く聞いていない。

**問** 民営化で平日は夜8時まで、休日も夜6時30分までの保育ができるようになり、大宮町から峰山保育所に通っている園児も多くなる。利便性につながるよう大宮北保育所も早く民営化を進めたらどうか。

**教育委員長** 民営化は保護者や地元区の理解をいただいていると考えており、方針や計画を定め進めていきたい。

**問** 来年度から2保育所の民設民営化で、年

間5300万円の削減が見込まれる。これをもとに府下一高い保育料の引き下げを早く求めたいがどうか。

**市長** 高額と認識しているが、三十数億円の交付税減額の問題もあり、考慮する必要もある。

### 振り込め詐欺の対策を

**問** 振り込め詐欺や類似的詐欺による被害は、年間で初の400億円を超えると言われている。管内の状況は。

**市長** 10月末までに3件1560万円ある。

**問** 今まで詐欺で実際に使用された電話番号約2万件が登録された「迷惑電話チェッカー」という機器が発売された。登録された電話番号から発信されれば、「迷惑電話の恐れがあり



効果が期待される「迷惑電話チェッカー」

ます」とアナウンスされるもので、多くの自治体が無料で高齢世帯に貸し出し、防止策を取っている。京丹後市もできないか。

**市長** 相手は次々と番号を変えてくるので、すり抜けた場合は逆に安心してしまふ場合がある。機器の効果が見えてくれば検討するなり、市民に情報提供していきたい。

## 京丹後産農産物ブランドの強化を進めるには

**市長** 市を上げて取り組んでいく

**問** 地元食材の活用状況はどうか。

**市長** 食育の日には、米・魚・野菜・牛乳を用いているが、足りない野菜もあった。宿泊施設については、使用して頂いていると認識している。

### 教育委員長 食育、地産地消に努める。

**問** 「京野菜」で評価を受けているが、「丹後王国」の刻印を押し付けたブランドを立ち上げてはどうか。

**市長** 市内の野菜は高い評価を頂いている。統一ブランドは前向きに検討したい。

### 「サル追ひ払い隊」の成果は

**問** 活動が始まったが成果と課題は。

**市長** 出没は減少した

が、課題として時間外に出没する。追ひ払い方向とは違った場所に移動している。

**問** 大勢で地域を集中して追ひ払うことで、さらに効果が高まる。加害レベルは5に達しているが、捕獲も検討するのか。

**市長** 府とも協議して、方向を探りたい。

### 再配置後の施設、跡地利用はどうするのか

**問** 方針を早く出すべきだが、現状と課題は。

**教育委員長** 地域の方と協議して進めていく。

**問** 民間への委譲もあるのか。

**教育委員長** 利用計画が見い出せないときは委譲もありうる。

TPY・2リーダー基地



清風クラブ  
芳賀 裕 治

**受け入れ後の対応は**  
**問** 地元住民への詳しい情報が少ないことから、依然として不安がある。事故に対応できる外国語の話せる警察官の配置がされるのか。開示できることは全て伝えてほしい。

**市長** 外国語の話せる警察官の配置はお願いしてある。地元の方々の安心、安全には丁寧に対処していく。



美味しい京丹後の野菜

## 街に元気を！公共投資は効果が大きい

市長 経済の活性化には、民需の掘り起しも大切だ



清風クラブ  
金田 隼仁

**問** 国において「国土強靱化基本法」が成立した。大地震への対応や、デフレ対策などへの重要政策だ。京都市学、藤井教授の「国家経済はGDPで考えるべき」「国と地方は限りなく連動する」との研究結果によるものである。本市も民需の活性化を図るため「住宅改修助成金制度」など公共投資による経済活性化策を進めるべきだ。

**市長** 公共投資は大切だ。需要も供給も掘り起し、経済を活性化させる。具体的な施策としてはグリーンな経済社会を創っていくために、さまざまな選択がある。市内の経済を活性化させ元氣な街づくりに向け前向きな施策を進める。

**問** 学校再配置基本計画、峰山町域も見直しては

**問** 学校再配置は基本計画に沿って進められており、関係各位のご努力に敬意を表したい。峰山町域はこれまでに平成28年度に五箇小が吉原小へ再配置されるようになっていたが、それ以外からも再配置を望む声も聞かれる。計画の見直しは考えているのか。

**教育委員長** 今回は、計画の見直しはしない。ご意見箱に丹波小に対するものがあつたが、現時点では保護者や地域の声としては無い。

**スポーツ施設の整備計画を進めているか**

**問** 陸上競技場や野球場、体育館など、施設の改修、新設の要望や、他の各種競技団体からも身近な要望がある。「スポーツ推進本部」や体育協会で「将来の姿」を描き意見を吸い上げ、優先順位を付けて組織決定し、スポーツ行政を進めるべきではないか。

**市長** 施設整備計画はスポーツ審議会でも議論し、将来を見越した展望を描き、市として意思決定していく。



住宅リフォーム助成金制度で循環型社会を

## 京丹後市の「海の京都」構想の取り組みは

市長 プランが策定され、府と調整中である



清風クラブ  
堀 一郎

**問** 平成26年度の京都縦貫道の全線開通を受け、京都府北部にスポーツを当てる「海の京都」構想が立ち上がった。天橋立、伊根の舟屋、舞鶴の赤レンガ倉庫群と共に、京丹後市の重点地域に「夕日ヶ浦」が指定され、夕日の広場をはじめ景観整備が計画されている。しかし、遅々として進んでいない。本当にこれで平成26年度に間に合うのか。

**市長** 京丹後市は西の玄関と位置づけ、マスタープランも策定され、専門部会では具体的な計画も一部進められている。全体の連携も考え振興策を予算の中で対応していく。

**問** 近年有名になった竹田城は、たった一枚の写真がきっかけで、多くの観光客が来られている。NHKの街角情報室では、季節外れの花が咲いたと言えれば、それだけで人は集まる。いかに観光情報を発信するかが課題である。その対応はどうか。

**市長** 課題も多くあるが、現状としてはHPをはじめ、フェイスブック、フィルムコミッションも立ち上げ情報発信には取り組んでいる。改めて検討して行く。

**人口減少への取り組みは**

**問** 高校卒業後、進学や就職で都会に出た子どもたちが、京丹後に帰って来れないのは、希望する職場が無いからである。創業についても特徴のある施策が見い出せない。グローバル化に対応できるよう、京丹後市の独自の施策として、英語とコンピュータに重点をおいた教育に取り組んではどうか。

**教育委員長** 拠点校を中心に英語とコンピュータも授業の中に取り入れている。小中一貫教育の中で、小学校低学年からの英語教育も検討している。



海の京都 マスタープランが策定されたが

## 宇川・豊栄地域へデマンドバスを！

市長 春の実施に向け地元NPOに運行委託する



清風クラブ 吉岡 和信

**問** 丹後町では、移動販売業者の廃業により、買い物に困難な集落が出ている。デマンドバスの早期導入を。また、宇川から、弥栄經由峰山行きの200円バスが必要だ。

**市長** デマンドバスを地元NPO「気張る！ふるさと丹後町」に運行委託して春から実施する。対象地区は豊栄、宇川地域等である。宇川から弥栄經由峰山行きの直通バスも丹海の協力を得て秋から走らせる。

会議員等による推進議員連盟の会議があり、大宮森本から網野間の事業化に向けた予算確保と、鳥取までの全線を、国直轄による事業にと強く訴えてきた。

**問** 丹後弥栄道路の丹後工区と宇川バイパス着工への取り組みは。

**市長** 国、京都府、京丹後市による調整会議が発足した。この2路線を、最優先事項として強く要望している。丹後工区は、圃場整備等も絡め地元と調整している。

CAS冷凍で地域を元気に

**問** Xバンド配備は、漁業者や農業に不安を与えている。活性化策としてCAS冷凍機（磁場エネルギー）による経済対策を。



整備が求められる国道178号線

**市長** 魚介類等の販路拡大を図るうえで、CASは画期的であり、地元から具体的提案があれば検討する。

**問** 人口減少の対策は未婚者の婚活対策はできないのか。

**市長** 市のフェイスブックから参加者へ情報の発信は可能だ。

## 動きが見えない！市長公約の「教育立市」

市長 教育委員会を中心に着実に前進



清風クラブ 由利 敏雄

**問** 「教育立市」に向けての取り組みは進んでいるのか。

**市長** 小中一貫教育、学校支援ボランティアの充実、高齢者大学など、教育委員会を中心に進めている。

**問** 「教育立市」に向けての取り組み内容は。

**市長** 平成26年度からの小中一貫教育の実施、学校支援ボランティアによる土曜日活用、学習支援員の取組、来年度から試行されるケーブルテレビを活用した取り組みなどである。

**問** 教育振興計画の内容は、策定委員会は何を協議するのか。

**市長** 本市の教育の方向や展望を定めるものである。指導体制なども含めて、教育の方向をいろんな角度から検討

する委員会である。**問** 平成26年度からの小中一貫教育の取組は。

**教育委員長** 10年間を一体として捉え、一貫性のある教育課程のもとに、目標と指導方針を共有して連携・協働することを中心に据え、峰山中学校区と網野中学校区で実施する。平成26年度中には全ての教育課程を作成する。

また、「夢と希望の育みプラン」を作成し、保幼からのプログラムも作成する。

**問** 小中一貫教育への人的な配置は。

**教育委員長** 府の教育委員会から配置されている加配教員や、市単費の講師を活用する。

再配置に伴う課題は生じていないか

**問** 学校の跡地活用は。

**教育委員長** 地元との協議をする中で方向性を出していく。**問** 通学路の決定は。

**教育委員長** 学校づくり準備委員会と協議して決定している。**問** 問題事象は。



再配置後閉鎖された校舎

## 国籍を問わず誰もが住みよい まちに

市長  
多文化共生推進プランを策定  
する



清風クラブ  
松本 経一

**問** 今後、市内に住む外国人が増えることが見込まれる。すべての住民が国籍、人種を問わず、それぞれの違いを尊重し、同じ住民の一員として誰もが暮らしやすいまちにしなければならぬ。行政の対応が問われる。対策は考えているか。

**市長** まちづくり基本

条例には、国籍を問わず、誰もがまちづくりに参加できることが定められている。外国人住民の増加もあり、多文化共生推進プランの策定を行い、行政の役割を強化する。

**中高生の短期留学への支援を**

**問** 市内には外国と取り引きする企業が増えており、グローバル化

時代に対応できる人材を求める声が強まっている。また、中高生の保護者からは、英語教育への期待などから、特に英語圏の国々との交流を求める声がある。

**市長** 英語圏に姉妹都市がある。英語圏の国の学校と姉妹校提携を結び、中高生を対象に、短期留学や交流派遣事業ができないか。

**教育委員長** 中国亳州

市の生徒との交流事業もあつたが一過性だった。海外との交流の機会は大事だと思う。

**市長** 英語圏に姉妹都市がないため、そういったものができれば、子どもたちの交流や海外体験ができる。今後姉妹都市、姉妹校といった話があれば進めたい。

**空き家対策について**

**問** 市の空き家適正管理条例の制定はどうなっているか。

**市長** 条例案は用意したが、国や府の動向を見ながら進めたい。

**問** 空き家の利活用を進めるため、他の自治体のように空き家の改修費に市が補助金を出せないか。

**市長** 重要性は認識している。どういうことができるか検討する。



国籍を問わず、誰もが暮らしやすいまちに

## 行政組織のあり方について

市長  
課題の解決・強みを活かす組織  
に改編された



清風クラブ  
谷口 雅昭

**問** 地方交付税の合併特例措置が平成27年度から削減される中で、事務事業の見直しやスクラップが緊急の課題である。企画総務部は事業を総括し、総合調整や戦略・政策を打ち出す組織であり、事務事業を総括する視点が弱いと考えるが。

**市長** 企画部門と行革

部門が両輪となり、限られた財源を重点的かつ効果的に配分し、政策の「選択」と財源の「集中」により事務事業を実施していくことが重要と考えている。

**問** 時間外勤務削減や業務改善を指摘する中で、他市への視察では、時間外削減の取り組みで、繁忙期に他の部署からの併任発令で全体の時間外の抑制や、業

務改善のため職員による内部監査チームを編成して取組まれている。業務改善や経費の削減等、他市の制度を参考にしたいと考えるが。

**市長** 公務品質向上推進委員が、時間外勤務の点検や仕事のやり方などを助言している。他市の制度等を検証、分析し参考にしたい。

**最終処分場の見直しは**

**問** 漂着ゴミ等、地域

ポランテニア活動で、開設日以外の持ち込みの対応は。

**市長** 経費削減のため

開設日を見直す。地域の環境保全や火災など、罹災時には臨時開設等の対応を考えている。

**子ども議会の継続を**

**問** 青年会議所主催の



地域の課題などを真剣に議論する生徒たち

## かぶと山の熊野神社と展望台で 結婚式を

**市長** 地域と市とが役割をもつて  
取り組んでいく



丹政会  
和田正幸

**問** かぶと山の山頂にある熊野神社と展望台を、全国にPRするオーピングイベントとして、公募による結婚式を実施してはどうか。

**市長** 海の京都構想の重要な観光拠点として、積極的に全国的にPRするのは重要である。かぶと山の結婚式は、市と地域の皆さんとがそれぞれの役割を持って、いかに一緒に協力していくかが、もっとも大切なことだと思っている。

**問** 海の京都構想では、本市の湊から浜詰の砂浜が対象とされている。かぶと山からの海や、小天橋への眺めは素晴らしいものであり、これを利用した本市の目玉となるようなポスターを作成しては。

**市長** 海の京都構想に合わせて焦点化したものを作ることも、情報発信の面からは重要で、観光協会と協議して検討する。

### 海岸道のジオパークは

**問** 浜詰から五色浜間の遊歩道を観光遊歩道として整備し、広くPRしては。

**市長** 地元の方へ草刈りなどの管理をお願いしている。ジオパークの散策コースとして遊歩道を取り入れ、モデルコースとしたい。

**問** 五色浜に「にんない」を放流するなどして、地元と一緒に子育て子供向けの体験イベントを開催しては。

**市長** 掛津で一日漁師体験を実施しているの  
で、それを参考にして

可能性を探す。

**問** 観光地に、市全体の観光名所がわかる図入りの観光案内板を設置し、そこへのアクセスがわかる誘導板の設置は出来ないか。

**市長** 景観などの配慮、経費の有効活動の観点から、必要最小限で設置の予定だ。関係機関と調整して、適切な整備をしていく。



冬の五色浜

## 野田川大宮道路完成に向けた 観光客誘致策は

**市長** インフォメーションセンター  
設置を検討する



丹政会  
三崎政直

**問** 森本インター開通に向けて、経済効果の最大化を図るべきだが、構想はあるのか。

**市長** 森本の近辺に複合的インフォメーションセンターを検討したい。開通時期も平成28年度末より早期の開通に向け京都府も努力されており、間に合うよう、おもてなしによる地域振興を目指し、あらゆる方策で取り組む。

**問** 府道網野岩滝線の状況は。

**市長** 久住バイパスは年度内に完成する。外村工区は地元の理解が得られ、土木事務所にて早期整備の要望が出された。完成すれば、森本インターから丹後、弥栄方面へのアクセス道路として期待できる。

**問** 外部評価の対応は

**市長** 外部評価で分庁舎の早期集約が求められたが、どのように対応するのか。

**市長** 網野、大宮庁舎を含めて全体で検討する。建物等の問題もあり、3年後とか一定期間が必要である。峰山庁舎に集約する方向で、来年度から検討に入る。合併特例債は平成31年度まで発行可能だ。

**問** 峰山庁舎前駐車場の目的外駐車対策として、有料化も検討すべきとされているが。

**市長** 防災広場となっており、一般の駐車場とは異なる面もある。今後、庁舎問題と併せて考えていく。

**問** 太陽光などの支援を  
市は来年から太陽

光発電事業を始める。また、各町1校に太陽光発電設備とリチウム式蓄電池を設置する計画である。今後、太陽光発電に対する国の支援が削られるため、市が支援すべきだ。

**市長** スマートシティへの挑戦として、家庭用太陽光発電パネルや蓄電池設置に対する補助金について、具体的な検討を進める。



開通間近の府道網野岩滝線（久住バイパス）

## 農業振興策はあるのか

**市長** 日本一の米のおいしさを生かせる取り組み



丹政会  
池田 恵一

**問** 丹政会は、平成26年度予算の要望書を市長に提出した。平成26年度予算について市長の考えを問う。

**市長** 平成26年度は10周年の節目となる。総合計画最終年として、メリハリを付け市民総参加の市政を目指す。

**問** Xバンド・リーダー配備に伴い、宇川地域の振興計画が必要と思うが。

**市長** 現在要望を聞いて計画中である。必要な事と認識している。

**問** 地域政策とは、伸ばすべき地域を伸ばし、遅れている地域をいかに救うかが大切では。

**市長** 伸ばすべき所はしっかりと伸ばしながら、セーフティネットもしっかり取り組みたい。

**減反政策廃止に対し、農業振興策はあるのか**

**問** 政府は、50年近く続けてきた米の生産調整、いわゆる減反政策を5年後に廃止と決めたが、その対応策を考えているのか。

**市長** 制度の全容がわからない中で、農家の声をよく聞きながら、必要な対応は全力を上げて取り組んでいきたい。京丹後市の米は日本一のおいしさがある。これを生かせる取り組みをしていきたい。

**問** この制度改正により現在の水田の8割が大規模化される。中山間地域の多い京丹後市で補助金が打ち切られ、どのように農業を展開していくのか危惧するが、対応策はあるのか。

**市長** 言われる事は理



どうなる丹後の農業

解できる。我々の米は日本で一番おいしいと自負している。工夫することが大事と思っっている。農家の声を聞きながら取り組んでいきたい。

**問** この政策転換を転機に、農家の発展に生かすべきと思うが。

**市長** 丹後は日本の稲作発祥の地で、食の柱としての米作りを大切にしていきたい。

## 米軍基地用地交渉の先行は本末転倒だ

**市長** 現状について手続きと問題はない



日本共産党  
田中 邦生

**問** 市長の受け入れ表明から3ヶ月余りが経過したが、安全安心についての不安は払拭されていない。「無いこと」に越したことはない」が大多数の声であり、市民は納得してない。

**市長** 安全安心の説明もせず、用地交渉を先行させるなど本末転倒だ。米国では必ず行う環境アセスを京丹後市では行っていない。市民の安全や人権が軽んじられている。環境アセスの実施は大前提だ。安全安心が確保できない場合には撤回するという市長の考えは今も変わっていない。

**市長** 事件事故防止の連絡会の準備会を立ち上げ定期会合をしている。各種道路のアクセス整備について連絡調

整会議をつくった。現状について手続きとして問題があるとは考えていない。

住民の安心安全が確保されないということがあれば、基地の受け入れ撤回ということも排除しない。

**問 国保税の引き下げを** 国民健康保険は、課税所得なしの世帯が34%、課税所得50万円未満の世帯が50%、200万円未満が82%を占めるなどの構造的問題と、国庫支出金が当初から半減している問題がある。

若い世代、子育て世代の負担は、被用者保険と比べ1.6倍、3人世帯では2倍を超える重い税負担だ。繰入れや基金を使い、国保税を

引き下げるべきだ。

**市長** 国保制度維持のために多くの公費が掛かっている。保険税の引き下げは、基金に余裕がなく難しい。出来るだけ安くして

いきたい。ジェネリック薬の普及など歳出抑制しながら、これ以上引き上げのないようにしたい。国に対して、国庫支出金の増額を引き続き求めていく。



平和の叫び&人間のくさり、市役所前

## 高校下校時間帯バスとデマンド交通の実現を

**市長** 通学調査を実施しデマンドは充実させる



日本共産党  
橋本まり子

**問** 峰山、久美浜高校通学生徒の下校時間帯にもう一本遅いバスの実現は。

**市長** KTR乗客数減少に配慮し、市として両校関係生徒に通学実態調査を早急に行う。KTRとバスの両立が図られる方策をとる。

**問** デマンド交通（利用者の要求に応じて運行するバスなど）は今後計画の拡大はあるか。

**市長** 来年から丹後町で実験実証運転をNPOに委託して行うが、市内で要望も多く、事業者、NPO、社協、シ

ルバー人材センターなど多様な運営を考えていく。

**有害鳥獣対策、今後の方向性は**

**問** 狩猟免許保有者の

高齢化が進んでいる。例えば希望する市職員に免許取得を促したり、農政、鳥獣対策に特化した技術職採用など、市の具体的方策は。

**市長** 3つの柱、防御、共生、捕獲で対策を進めている。若年層の猟銃免許取得は進んでいない。その一因である

猟銃免許取得要件の見直し等、府にも要望していく。猟銃免許は比較的取りやすく、市職員にも広めていきやすい。人事の件は部内でも検討していく。

**問** ぼたん・もみじ比治の里での食肉利用を進めるため、学校給食でのジビエ利用は。

**市長** 京都府立大教授の進言もあり、地産地消を進め拡充できたらと考えている。

子どもたちへの豊かな教育の充実のために

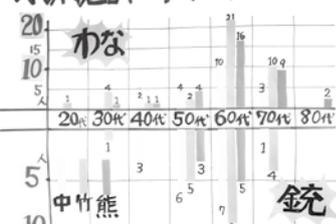
**問** 機会あることに教職員定数増の要望を。

**教育委員長** 今後も引き続き要望する。

**問** 子どもにも教職員にもゆとりを持たせるために、週1回のノークラブデイの設置を。

**教育委員長** 校長会でも話をしている。今後の課題としていきたい。

### 狩猟免許 年令別状況



鳥獣捕獲、次世代につながる大胆な方策を

## 敬老会補助金はどうなるのか

**市長** 減額と併せて定額支給も検討



日本共産党  
平林智江美

**問** 来年度の敬老会の補助金見直しが行われている。前回の見直しの際には、健康長寿のまちづくりと言いな

が、削減するのはおかしい。区への説明が遅すぎて、予算編成に支障をきたす、などの問題が出され、議会が修正した。問題点を踏まえての検討とは。

**市長** ①金額の変更一人2250円を2000円に引き下げ。また、各区の対象者数による定額支給。②事務の簡素化。③小さい区への配慮。この3つの方針を9月中旬から代表区長会に3回説明した。

**問** 説明は、代表区長までであり、十分な説明とは言えないが。

**市長** 方針を年内に各区に発送し、意見を求める。

める。

**問** 放課後児童クラブの充実を

**市長** 市内のきびしい経済状況の中、保護者への保育料の負担が大きい。条例では、市長の判断による減免も行えるとなっている。生活困窮への減免も行うべきだ。

**市長** 生活困窮者への減免は、相談に応じる。災害・生活保護・母子、父子家庭への減免制度がある。2人以上の場合1人は2分の1としている。

**問** 指導員について、歴代厚生労働大臣が「デリケートな時期の子どもたち、非常に専門的な知識も必要。学校の先生と勝るとも劣らない専門性が必要」と発



子どもたちに豊かな放課後を

## 「アベノミクス」をどう見ているのか

市長 地方はまだまだ。だが、大賛成だ



日本共産党  
森 勝

**問** 昨日市役所前で米軍基地はイリマセンと一千人を超える集会と抗議デモがあった。基地予定地には市有地があるが、防衛省と賃貸契約はしたのか。契約書は賃貸期間等多くの不備と問題点があるが。

**市長** 契約書は入手できていない。賃貸期間についても承知してない。

**問** 当該地の本市が防衛省に無視されている。10項目の要望もないがしろにされているのではないか。10項目の具体的な回答を強く迫っているのか。また現地の「憂う会」の36項目の質問事項も含め、基地配備を受け入れるのかどうかは最終決断すべきだが。

**市長** 10項目は事前、

事後の項目もあり、今は連絡会をつくり現地の人たちの声も聞き、区長会でとりまとめた。軍属の居住地も早く決定をと強く求める。

「アベノミクス」をどう見ているのか

**問** 今後どうなるか。今後どうなるか。

**市長** 大賛成である。地方はまだまだであり、円安による資材高騰等で、機械金属業では格差が生まれている。市独自の対策、支援策も必要と思っている。

**問** 「アベノミクス」の目的は「企業が世界で一番活動しやすい国づくり」と言っている。大企業支援策であり、財政再建問題、消費税増税問題等、危険な方向に向かっている。市長

は京都府税機構の連合長であるが、平成24年度以降機構の差し押さえ件数が増加しており、払いたくても払えない人達に強行な差し押さえが増加しているが。

**市長** 納税者の信頼を第一にした基本運営をしている。生活の状況も把握し、払えない人達への減免措置も視野に入れていくよう、機構に求めたい。



12・15市役所前米軍基地反対集会

## 総合計画での定住・交流人口の達成見込は

市長 極めて困難であり、次の計画で多角的に議論



無党派  
松本 聖司

**問** 平成26年度は総合計画の最終年度になる。基本構想の定住人口・交流人口を、後期計画でより現実的な数値に見直しをしたが、現時点での評価は。

**市長** 現在の推定人口は5万7千人弱。交流人口は平成24年度で170万人強であり、現実的に達成は極めて困難である。次の計画で、基本構想に数字を見込むかどうかも含め、多角的に議論したい。

**問** 基本計画内では、「経済交流都市」部分が策定時より数字が下がっているが、新年度予算での具体的な取り組みは。

**市長** 海の京都構想を具体的に仕掛けていく。又、商工業の新経済成長戦略の1000プロ

ジェクトを順次実施していきたい。

**組織機構の見直しが必要だ**

**問** 組織機構も見直した時期に来ている。具体的には、部・課を減らして大きな組織にして機動性を高めること。企画部門の中に行財政改革部門を戻して、同じ部署でアクセルとブレーキを持たせて、市長の判断負担を減らすべき。

**市長** 分庁舎方式の見直しの中で見直したい。また、企画部門と行革部門の統合についても一定時期が来れば検討。

**問** 今のままでは総合計画の達成は不可能である。内向きの事は、副市長以下の幹部職員に任せて、経済分野の

達成に向けた選択と集中を、市長自身が必要がある。その視点に立った組織機構の見直しが必要だ。

**市長** 職員との意思疎通を闊達にしている。方針共有制度を取り入れ自主的、積極的にやってもらっている。トップセールスについても精力的に財源を取ること、市の魅力を発信する役目を果たすことを心掛けている。



最終年度を迎える総合計画

# 3つの常任委員会では市の事例を視察しました

## 総務常任委員会

### 【視察先及び目的】

- ① 新潟県三条市  
業務の繁閑に対応するための併任辞令
- ② 新潟県阿賀野市  
「事務事業ものさし」で、職員自ら業務チェック
- ③ 新潟県糸魚川市  
職員による内部監査で、事務処理ミスを防ぐ

### 【視察を振り返って】

① 新潟県三条市  
三条市は、平成17年5月に3市町村が合併し、誕生した人口10万人の市である。

合併による人件費の肥大化に対応するため、繁忙期に税務課、財務部、市民窓口課、会計課の経験者を中心として、人事担当部署が一定の従事期間を定め、他の部署で必要な人員を割出し、併任辞令の発令を行っている。これにより時間外の抑制を人員配置で行っている。

視察時は実施初年度でもあり、効果や数字的なものは得られなかったが、本市においても厳しい財政運営の中で、限られた職員で時間外の削減や、事務事業の見直しなどの取り組みを参考に必要性を感じた。



三条市役所での視察

## 文教厚生常任委員会

### 【視察先及び目的】

- ① 秋田県藤里町（藤里町社会福祉協議会）  
・「引きこもり者、長期不就労者、在宅障がい者」支援事業
- ・本市の「仕事と暮らしの総合サポート事業」や福祉事業との関連、発展にどう活かすか
- ② 秋田県秋田市（秋田市教育委員会）  
・小中一貫教育・学力向上の教育ビジョン
- ・全国学力学習状況調査の活用や研究推進体制

### 【視察を振り返って】

- ① 秋田県藤里町  
3年かけて実態調査

藤里町では、今まであまり表に出されてこなかった「引きこもり、ニート、精神障がい者」と呼ばれる人達の支援に踏み出すために、社協を中心に3年間かけて実態調査を実施。

訪問調査はもとより、様々なネットワークを駆使し、まちぐるみでこの取り組みを支えている。

### 【中間就労支援拠点施設】

「こみつと」事業を中心に据え、中間就労支援として、お食事処の経営、地元での農作業、雪かき等の職業訓練支援。地元特産品のマイタケを使った「マイタケキッシュ」の開発販促を行い、売り上げを年間450万に伸ばしている。

### 【福祉でまちづくり】

この事業により支援される人の力が、町を元気にする潜在力として位置づけられており、まさに「福

## 産業建設常任委員会

### 【視察先及び目的】

- ① 鳥取県鳥取市  
山陰海岸ジオパークの取り組み
- ② 鳥取県海士町  
・現場第一主義のための産業3課の設置
- ・商品開発研究生の取り組み
- ・海士ファン・バンクの取り組み
- ・島まるごとブランド化の取り組み
- ・CAS利用による高付加価値商品の販売効果
- ③ 鳥取県出雲市  
バイオマス資源活用状況
- ・林地残材の利活用
- ・食品廃棄物の堆肥化利用

### 【視察を振り返って】

- ① 鳥取県鳥取市

鳥取市は鳥取砂丘を拠点として、自然環境の保護や教育活動を進めるとともに、地質遺産を観光など産業振興に結びつけるべく官民一体となって取り組んでいる。本市では、学校・社会教育をはじめ全庁的に様々な取り組みを進めるなかで、市民全体の宝物としての意識の醸成を着実に図り、保全活動や観光をはじめとした産業振興につながっていくことを期待したい。

- ② 鳥取県海士町

海士町は、外海離島のハンディキャップを背負いながらも、地域再生へ挑戦する先進地として今注目

②新潟県阿賀野市

阿賀野市は、平成16年4月に2町2村が合併し、人口4万5700人の市が誕生した。行政改革大綱で市の目指すべき姿、行政の役割を明確にし、「事務事業の適切な見直し」をやりきるためには職員、市民の意識改革が何より重要と位置づけている。

同市は、これまで市民と職員による阿賀野方式の「事業評価」を実施し、900件の事業を審査し、拡大、縮小、継続、廃止の方向性を示し、経費の削減や事業内容の改善を図ってきた。職員自身による業務チェックの特徴としては、職員自身が事業の見直しを議論し、事業の問題点、可否等を共通認識し、職員の意識改革において成果があったとしている。本市においても、職員の意識改革を進めるうえで教訓にすべき必要がある。

③新潟県糸魚川市

糸魚川市は、平成17年3月に1市2町が合併し、人口4万6000人の市が誕生した。

最終処分場の水銀化合物汚染問題が発生し、再発防止に向けて、職員の意識改革、行政の信頼回復に向け、事務処理ミス防止のために内部監査制度を創設した。

取り組みの内容として、職場で「業務チェックリスト」を年度当初に作成し、業務が適正に行われているかを確認することで職員の意識を改革した。

課長補佐20人程度で内部監査を実施する中で、職員間の意思疎通や課を超えての職員育成が行われており、本市でも導入の検討が必要と考える。

祉でまちづくり」である。

本市の「仕事と暮らしの総合サポート事業」においても、生きづらい時代という認識を共有し、どう実態を把握し、引きこもり支援策をどう発展させていくかが大切だ。

②秋田県秋田市

テスト結果を即分析し、学校現場で活用

秋田は全国学力学習状況調査において上位にあるが、それを支える土台は何か。テスト後の分析に基づき、学校現場で活用できる内容を資料化し、指導主事を中心に教育委員会が各校に提供。

テスト結果は、数字ではなく、教科・領域ごとに課題となった問題事例、授業改善に向けての方策を整理し、市のHPで公開されている。

教師の指導力向上のため体系的な小中共通の研修体制の確立。地域・家庭との連携で、小学校から家庭学習が習慣化されていることなどが特徴だ。

秋田市では小学校中学校それぞれの教育課程は堅持し「小中一貫した考えに立った」教育をベースに推進する方向を持っている。

京丹後市で平成26年度から本格実施される小中一貫教育については、教育課程編成、地域の広範化、職員の意識改革、予算など課題は大きい。



福祉の拠点「こみっと」

を浴びている。町政は、経済規模が小さいこともあるが、「官が主導し民を導く」という強いリーダーシップにより、職員や住民の意識が変わり、まちの再興に一体となり取り組んでいる。

また、離島のハンディを克服するために、CAS凍結システムを取り入れ、首都圏などの市場で、高付加価値商品として販売し、漁業関係者の所得向上に寄与している。

海士町は小さな町だが、思い切った行財政改革、大胆な投資で地域活性化に挑戦。交流人口の増加やIターン者300人以上を定住させ、漁業者の収益増など一定の成果を出している。本市も人口減少、少子高齢化を見据えた産業振興策、定住対策は重要な課題で、大いに参考にすべきである。

③島根県出雲市

出雲市は、平成22年3月に「出雲市バイオマスタウン構想」を策定したが、平成23年10月の斐川町との合併を機に、構想の評価、検証してバイオマス資源の利用のあり方を見直している。

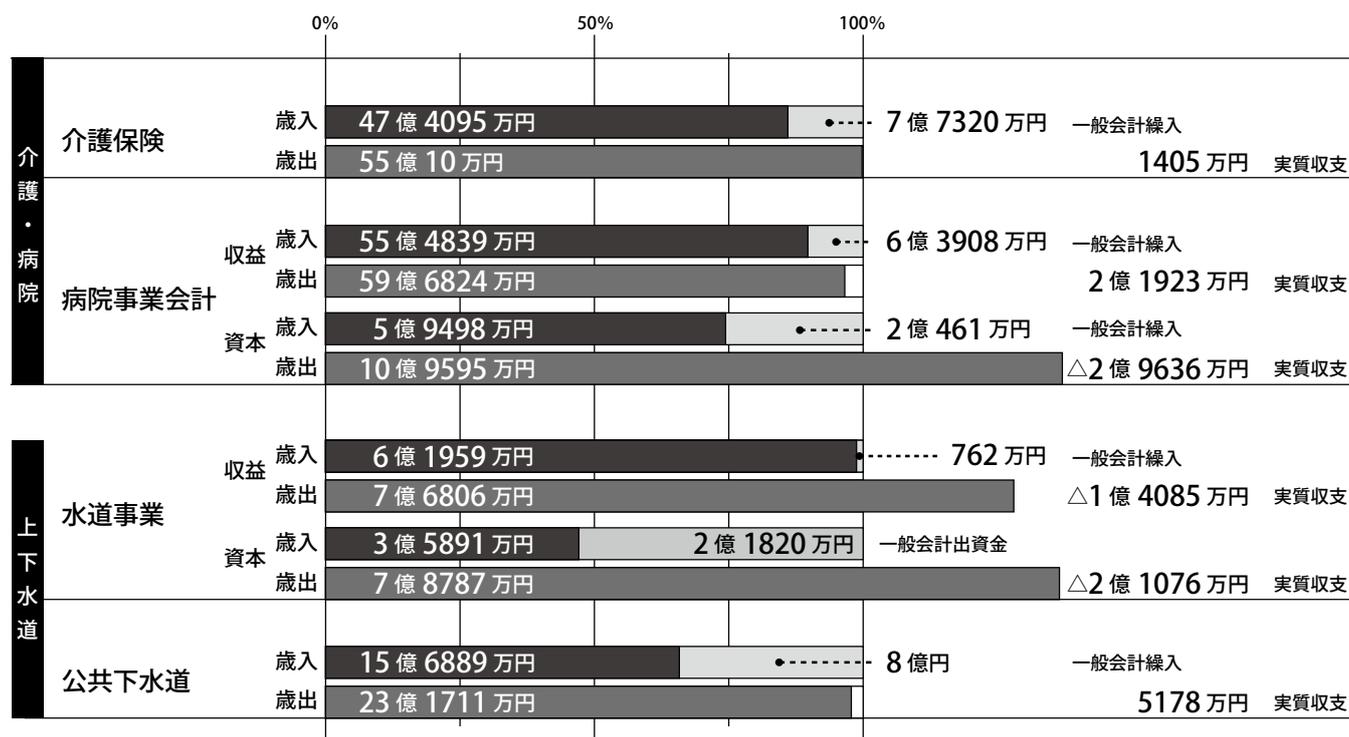
本市は、平成19年10月にバイオマスタウン構想を策定後、一度も見直しをしていないが、政策的、社会的変化が大きい時期であり、状況に応じた構想の見直しの必要があるのではないかと考えた。また、食品廃棄物は、構想の見直しの結果、実施しないことになった。分別収集を実施することは相当ハードルが高いと感じられる。本市も全市的な分別収集をするのかどうか、方向性を早く決断して示すべきである。



海士町での視察風景

## ● お詫びと訂正

第38号 市議会だよりのP3グラフの数字が一部誤っておりました。下記の通り、訂正しお詫び申し上げます。



## 次回の市民と議会の懇談会

## テーマ 議会に望むこと

開催日	開催時間	場 所	班
2月18日 (火)	午後7時30分～ 午後9時	峰山会場 新治構造改善センター	1班
		弥栄会場 和田野区公民館	2班
		網野会場 島津勤労者と子どものセンター	3班
2月19日 (水)	午後7時30分～ 午後9時	丹後会場 砂方集落センター	1班
		大宮会場 アグリセンター大宮(口大野)	2班
		久美浜会場 久美浜ぎょそんセンター(湊宮)	3班

班	議 員
1班	田中邦生・吉岡豊和・岡田 修・池田恵一・橋本まり子・堀一郎・松本経一・松本聖司
2班	中村 雅・藤田 太・川村博茂・足達昌久・芳賀裕治・森 勝・和田正幸
3班	谷口雅昭・由利敏雄・三崎政直・金田琮仁・谷津伸幸・平林智江美・吉岡和信

(平成25年11月18日・19日開催分)

# 市民と議会の懇談会

## まとめとご意見



前回の報告会

**主な内容**

- ・ 9月定例会の概要報告
- ・ 市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

**懇談テーマ**  
「小中学校・幼稚園・保育所の再配置について」

懇談会における参加者の意見などをここに掲載させていただきます。

**問** 再配置後の跡地の利用計画が見えない。早期に利用や活用を含めてどうするのか考えないか。価値が下がる。また、廃校舎の耐震工事はするのか。

**答** 委員会を立ち上げ、

多様な意見を集約して、検討していますが、具体的な形にはなっていない。耐震工事については、する予定はありません。

**問** 多くの学校の跡地が放置され、利用が見られないが、他の空き校舎はどのように使っているのか。

**答** 跡地利用には苦慮しています。校舎については、地元と協議を進めています。

**問** 学校が廃校になった後の維持管理はどうなるのか。市がするのか、区が受け持つのか。

**答** 地域の要望を聞きながら進めていきます。使用目的により、いろいろなパターンが考えられます。大宮第三小学校のグラウンドは、チップ工場として民間が管理しています。竹野小学校は区に管理を委託しています。

**問** 学校再配置にとまって、給食でのアレルギー対策はどうなっているのか。

**答** アレルギーの子どものについては、入学時に保

護者から丁寧に実情を聞いて、担任や栄養士などが除去食を考えています。献立内容や子どもの人数などにより、すべてが除去できない場合もあります。当然再配置された場合も、そのような対応が丁寧にされています。

**問** 子どもの通学路の安全・安心については、大変重要な問題であるが、通学路への対策は一向に進んでいないが。

**答** 文教厚生委員会では、危険箇所を提出させるなどして、通学路の安全確保については、指摘もしています。他の議員も課題意識は持っています。財政面や道路の拡幅など、困難な状況があるのも事実です。

**問** 森本工業団地の進捗が見えないが、今後どのように進めていくのか。

**答** 商工業総合振興条例を可決しました。市をあげて企業誘致をしています。報奨制度を設け、市民や広く各方面に働きかけ

**問** 森本ICの進捗状況は

どうなっているのか。



前回の報告会

**答** 野田川く大宮道路の全体の進捗率は37%、用地買収は100%となっております。平成25年度の進捗状況は、11月25日現在で50%であります。橋梁も順調に進み、工程通りに進められています。

**問** 若い世帯が子育てしやすい環境、若い人たちが喜ぶ政策に期待するが。

**答** 議会でも保育料は京都府の中でも、高い方だと指摘しています。施設を完全民営化することで経費が削減された分を、保育料等に充てるよう提言しています。

**問** 消防団員が不足している。議員としてその必要性を認識して、団員を募って

ただきたい。

**答** 消防団員の人数が集まらないことについては、注視しています。以前のように自宅で仕事をする方が減少しており、峰山、大宮以外では団員の人数が減少しています。

**問** 限界集落が亀岡以北で2倍に増えている。高齢化率は、全国平均が22%、京都府は24%となっているが、本市はどのようになっているのか。

**答** 本市では約32%であり、中心部でも高齢化が進んでいます。限界集落は、大宮町では少ないが、丹後町では5集落あります。未婚者が多く、子どもが少ないことが全てに繋がっています。未婚者対策として婚活の取り組みもされていますが、女性が集まらないなどの課題もあると聞いています。

# 市民の声

## 離島と半島と 多文化共生



大宮町 河辺

水野 孝典

昨年、世界自然遺産の小笠原諸島西之島そばに生まれた新島が成長を続け、ついに西之島と合体した。小笠原諸島は東京から一千キロ南海上に浮かぶ島々だが、一国の領海や排他的経済水域を画する上で、離島が重要であることは言うまでもない。小笠原諸島の中心をなす父島と母島の合計推計人口は、昨年12月で2879人という。

ところで、英語で半島を表す「ペニンシユラ」という言葉はもともとラテ



河辺の伝統芸能となっている太刀振り

ン語で、「ほとんど島」を意味する。従って、原義によれば、丹後半島とは「島も同然の丹後」ということになる。その丹後半島を含む京都府北部の旧5郡は、昨年、丹後建国千三百年紀を迎え、次の新たな百年紀に向って出発した。京都府においても「海の京都構想で北部振興が目指されていることはうれしい。

さて、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によれば、本市の人口は今から6年後の2020年までにおよそ七千人も減少して5万一千人余りになると見込まれ、その後もさらに減少を続けるとしている。広大な市域に全般的に居住者が次第にまばらになるということであり、ある地域では人口

漸増があり得るかもしれないが、また別の地域では漸減や急減が起こることというのであろう。従って、大幅な人口減少という変動に耐え得る市の将来像

を的確に描くことが急務である。

ただ、人口が少ないこととそれ自体は問題ではない。それはまた、人口が多ければそれでよいという問題でもないことを意味する。要は、そこに住む人々の生活不安がなく、今日一日の喜びと明日への意気込みが感じられ、胸を張って生きることのできるふるさとを、どのようにして創っていくかというところであろう。幸い丹後半島には優れた天然資源と歴史文化遺産、そしてとりわけ、多くの多彩かつ多才な丹後人、京丹後市民が存在する。丹後の人々の先進性や構

想力、そしてものづくりの巧みさ、たくましさは、すでに弥生・古墳時代の古代をはじめ、近世、近代において実証済みである。

また、「ほとんど島」であった丹後半島も、京都縦貫道の京都北部への延

伸により、次第に半島が半島でなくなりつつある。定住人口の伸びは望むべくもない状況だが、交流人口の増加には期待できる。丹後半島のアイデンティティーは、古来、外に向って大きく門戸を開いてきたことにある。その懐の深さと広さこそが、地域の活性化を生み出してきたとも言える。

同質の文化はさらに深め合って研ぎ澄ますことが求められ、異質の文化は互いに触れ合って共に広げることが求められる。異質を排除せず、共生していく。これからの丹後半島発展のためには、丹後でも世界のどこでも活躍することの出来るハイブリッドな丹後人の育成を基本に、市民挙げて多文化共生というキーワードのもとに、シナリオを展開していく必要があるのではないか。

また、「ほとんど島」であった丹後半島も、京都縦貫道の京都北部への延

伸により、次第に半島が半島でなくなりつつある。定住人口の伸びは望むべくもない状況だが、交流人口の増加には期待できる。丹後半島のアイデンティティーは、古来、外に向って大きく門戸を開いてきたことにある。その懐の深さと広さこそが、地域の活性化を生み出してきたとも言える。

## あとがき

いよいよ平成26年度の4月から峰山中学校区と網野中学校区で、平成28年度からは全ての中学校区で小中一貫教育がスタートします。この教育は、本市の子どもたちに「生きる力」を育むために、10年間を一体として捉え、目標と指導方針を共有して、保幼・小・中学校が連携・協働して取り組む教育です。実施に向けては保育所や幼稚園から、中学校3年生までの「教育課程」の編成や「夢と希望の育みプラン」を作成し、系統的な指導を行う準備もされています。

子どもは地域の宝であり、学校はもとより地域を挙げて子どもたちを育てる環境づくり、地域づくりは、私たち大人の責任でもあります。子どもたちの健やかな成長を願い、地域ぐるみで支援する「まちづくり」が、小中一貫教育を契機に今後ますます推進されることを期待しております。

広報委員会は、市民の方にとって、見やすく、わかりやすい編集をこころがけ、今後も皆さまに親しんでいただける紙面づくりに取り組んで参ります。



◎広報編集委員会

- 委員 和田 正幸
- 委員 橋本まり子
- 委員 谷津 伸幸
- 委員長 川村 博茂
- 副委員長 金田 琮仁
- 委員 藤田 太
- 委員 堀 一郎
- 委員 由利 敏雄